



CITES COP17
JOHANNESBURG 2016
WORLD WILDLIFE CONFERENCE

「ワシントン条約会議」のためのゼミナール
基礎編「90分で分かるワシントン条約」

今日の内容

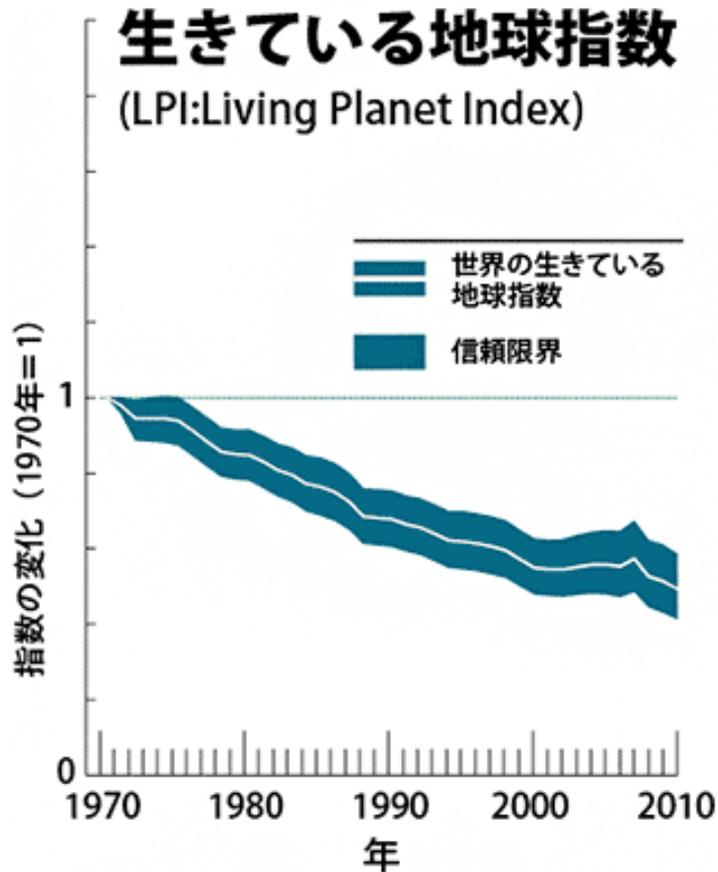
I. トラフィックとは

II. ワシントン条約の目的と仕組み

III. 締約国会議(CoP)

IV. CoP17の附属書掲載提案

地球環境の今



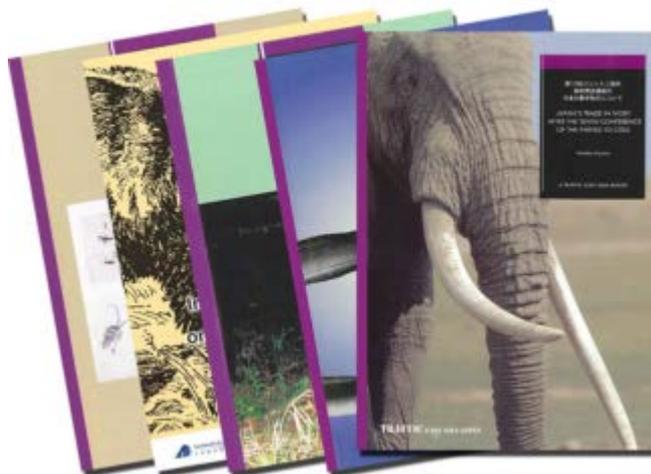
自然の豊かさは1970年に
比べ5割減

- 生物多様性の劣化
- 2万種を超える野生の動植物が絶滅の危機にさらされている

トラフィックとは



WWF(世界自然保護基金)と
IUCN(国際自然保護連合)の
共同プログラム



トラフィックが目指すのは、野生
動植物の取引が、持続可能な
レベルで保たれている世界

トラフィック ネットワーク

HQ - Cambridge, UK

N. America

S. America

Europe

E/S Africa

Central
Africa

India

E. Asia

S.E. Asia

Oceania

モニタリング調査・提言
行政や民間企業への働きかけ
関係者向けトレーニング
資料やツールの提供
普及啓発

■ TRAFFIC International

▲ Regional Office

野生生物の国際取引が持続可能なレベルであるよう監視・支援



Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora

絶滅のおそれのある野生動植物の種の
国際取引に関する条約

ワシントン条約の目的

- ◆ 1973年：採択、1975年：発効
- ◆ 1980年 日本での施行開始
- ◆ 締約国：181か国＋EU(国連加盟国：193か国)

目的：野生動植物が過度に国際取引で利用され、生存が脅かされることのないようにすること

ワシントン条約についてよくある誤解

1. 絶滅危惧種すべてが対象である
→ 附属書掲載種のみが対象
2. IUCNレッドリスト掲載＝ワシントン条約掲載
→ 提案、採択されることが必要
3. 野生生物の取引を禁止している
→ 禁止あるいは規制している
4. 国内取引も規制している
→ 国際取引のみが規制対象

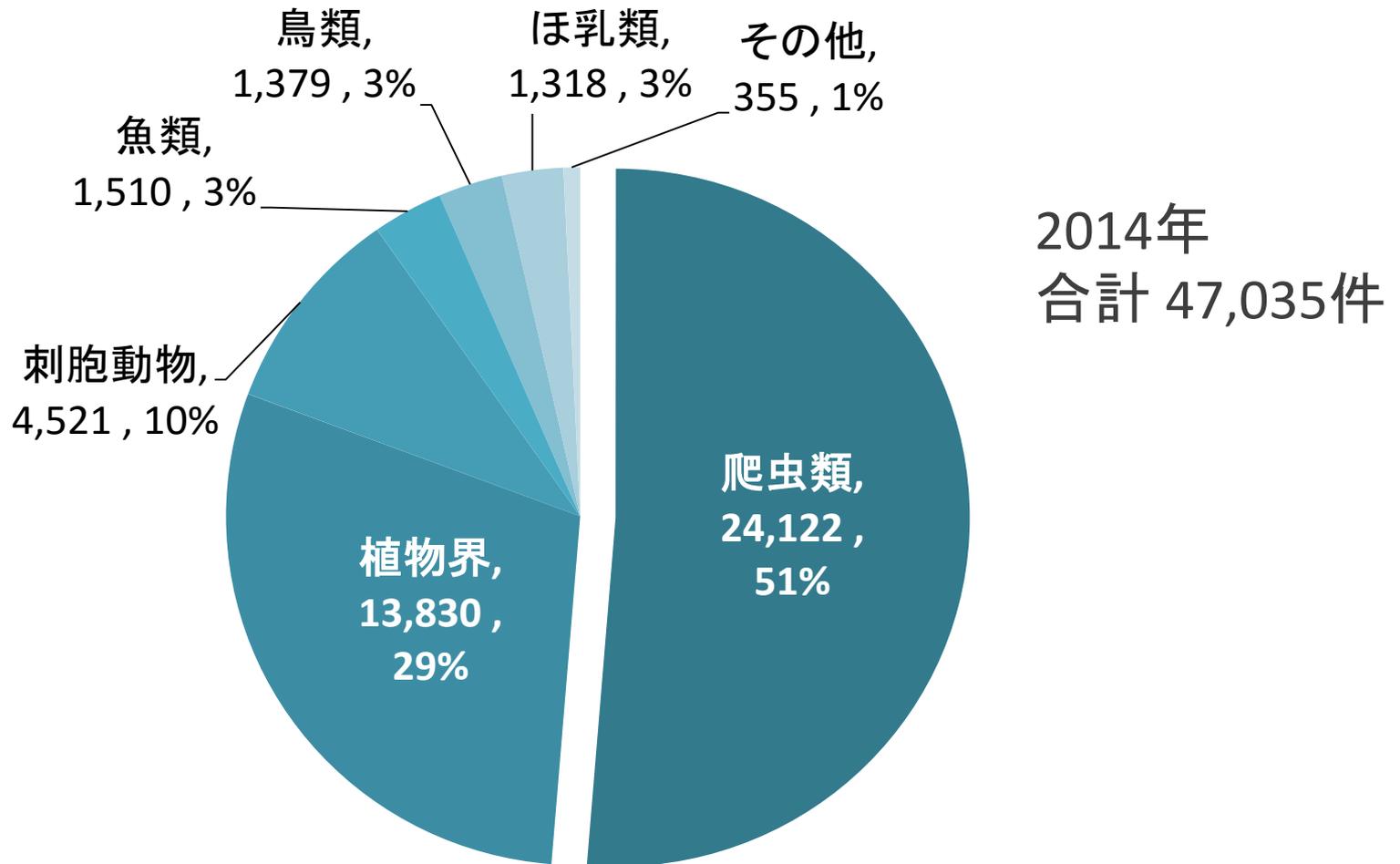
輸入数量上位の種と形態(2014年)

	種名	形態	数量
1	ラン科 <i>Orchidaceae spp.</i>	生きたラン	9,729,968個
2	ヨーロッパウナギ <i>Anguilla anguilla</i>	身肉(加工品)	6,554,890kg
3	ナガスクジラ <i>Balaenoptera physalus</i>	身肉	2,546,000kg
4	オオバマホガニー <i>Swietenia macrophylla</i>	挽き材	344,000m ³
5	トウダイグサ科の植物 <i>Euphorbia antisiphilitica</i>	ワックス	328,621kg

出典: 経済産業省 年次報告書 (2014)、CITES database



日本のワシントン条約対象種輸入学件数



出典：経済産業省 年次報告書 (2014)

日本の希少爬虫類ペット市場

※「日本のペットショップに行けば世界の希少な爬虫類がみられる」



ワシントン条約の規制

強 ← 規制 → 弱

附属書I	附属書II 附属書III
<ul style="list-style-type: none">● 商業目的の国際取引禁止● 学術目的等の取引は可能だが、輸出国・輸入国政府の発行する許可書が必要	<ul style="list-style-type: none">● 商業目的の国際取引可能● 輸出国政府の発行する輸出許可書が必要(附属書IIIの場合は、指定国以外であれば原産地証明書が必要)

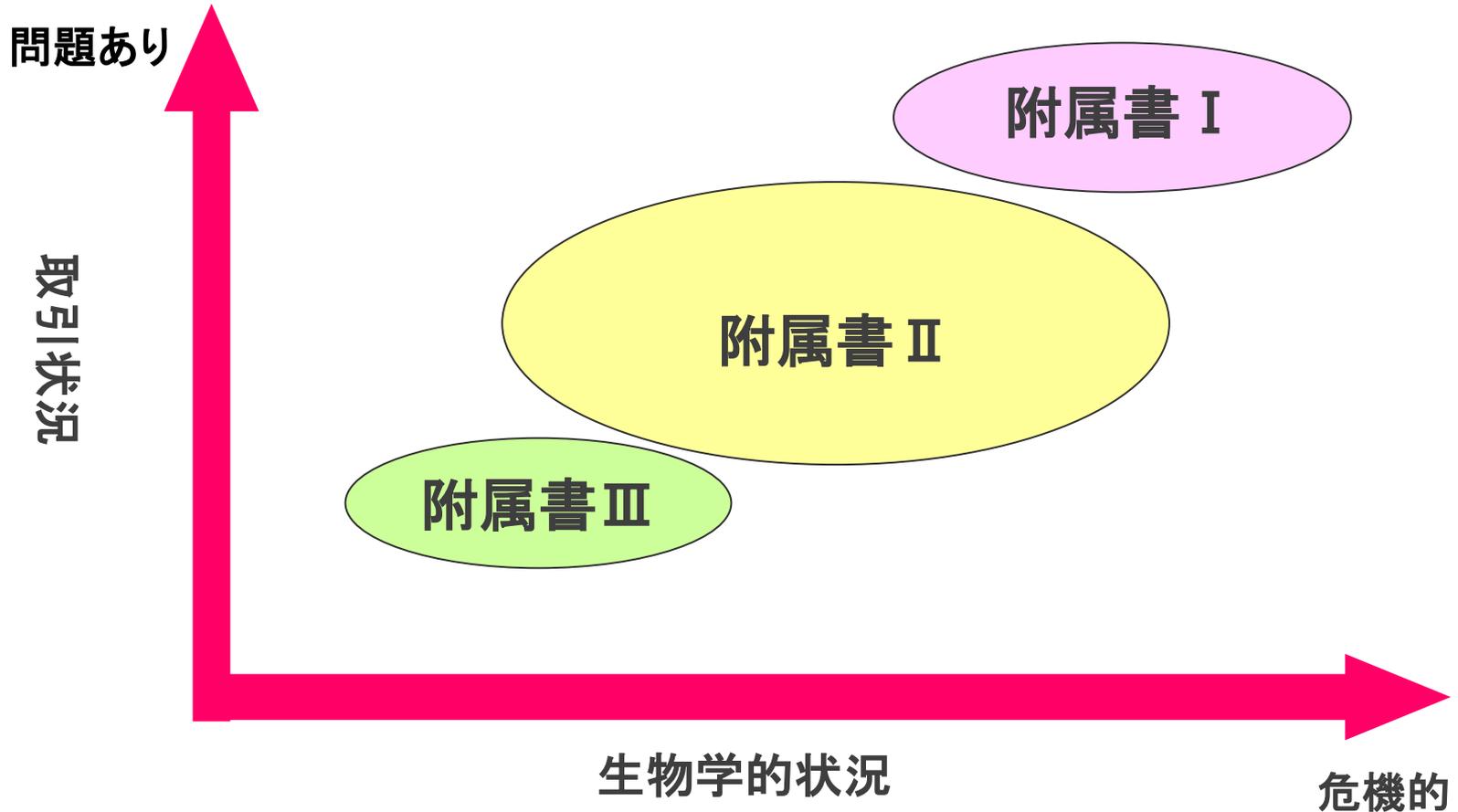
附属書の要件と対象種の例

	掲載される種	対象種の事例
附属書 I	絶滅するおそれがある生き物で取引による影響を受けているもの	約900種の動植物
附属書 II	取引を制限しないと、将来、絶滅の危険性が高くなるおそれがある生き物	約34,000種の動植物
附属書 III	その生き物が生息する国が、自国の生き物を守るために、国際的な協力を求めている生き物	約150種の動植物

附属書掲載基準（決議9.24）

附属書I	附属書II
<p>取引により影響を受けている、またはその可能性がある</p> <ul style="list-style-type: none">A. 個体群が小さい場合 (<5,000)<ul style="list-style-type: none">I. 個体数、面積の衰退II. 地域個体群の大きさIII. 地理的集中IV. 個体数の短期変動V. 脆弱性B. 分布面積が限定される場合<ul style="list-style-type: none">I. 分断II. 面積、地域個体群数の変動III. 脆弱性IV. 減衰C. 個体数減少率（ベースラインの5～30%まで減少、10年または3世代の長い方の期間に50%以上減少）	<p>第2条2(a)関係</p> <ul style="list-style-type: none">A) 取引規制の対象にしないと、近い将来、附属書Iの基準を満たすB) 持続可能な採捕の担保のために取引規制が必要 <p>第2条2(b)関係</p> <ul style="list-style-type: none">A) 識別困難種B) その他説得に足る理由

ワシントン条約の附属書掲載の考え方



日本が留保している種

附属書 I	附属書 II
マッコウクジラ ナガスクジラ イワシクジラ ミンククジラ ニタリクジラ ツチクジラ カワゴンドウ	ジンベイザメ ウバザメ タツノオトシゴ属 ホホジロザメ ヨゴレ ニシネズミザメ シュモクザメ3種(アカシュモクザメ、ヒラシュモクザメ、シロシュモクザメ)





CONVENTION ON
INTERNATIONAL TRADE IN
ENDANGERED SPECIES OF
WILD FAUNA AND FLORA

Logo incorrect

PERMIT / CERTIFICATE No. 1207 Permit number different at top and bottom

EXPORT Original 2.
 RE-EXPORT 3.
 IMPORT This permit is out of date!
 OTHER: Valid until 10 February 2014

1. Importer (name and address): Matthew Kuala Lumpur, MY Full name and address missing 4. Country name not listed in full 5.
4. Exporter / Re-exporter (name and address, country): No Signature 7.
6. Full name and address missing

3a. Country of import: 8. No country of import
9. Special conditions: 9. Commercial trade not allowed
10. Purpose of the operation (see reverse): 10. No Security stamp Number
11. Name, address, national seal/stamp and country of Management Authority: Viet Nam
11. No title of the authority
12. No full address
13. No seal/stamp

7. SCIENTIFIC NAME (Genus and Species) AND COMMON NAME OF ANIMAL OR PLANT: Serow Horn
8. Description of specimen identifying name or I (age/sex/etc): IIW
9. Quantity (including units): 2700
10. Total exported Quota: 17.
14. Cannot be commercially traded

12. Country of origin: No scientific name
12a. Country of last re-export: Wild animals of this species cannot be commercially traded
12b. Country of last re-export: IIW
13. Country of origin: 35. There are no notes on the back of the permit
13a. Country of origin: 36. The permit is a photocopy!

12. Country of origin: 18. Scientific name spelled wrongly
12a. Country of last re-export: 19. IIW
12b. Country of last re-export: 60
13. Country of origin: 37. An import permit would also be required for the Serow as this species is CITES Appendix I listed.

13. Country of origin: 35. There are no notes on the back of the permit
13a. Country of origin: 36. The permit is a photocopy!

13. Country of origin: 37. An import permit would also be required for the Serow as this species is CITES Appendix I listed.

10. THIS PERMIT IS ISSUED BY: 21. No place given
22. Permit only valid for one month
23. No official seal
24. Not real signature (stamp used)
25. Not full name
26. Not a proper security stamp
27. Seal should be placed over the signature
28. No Bill of Lading/Air Way-bill Number

14. EXPORT ENDORSEMENT: No quantities 29.
30. No port
31. No date
32. No signature
33. No stamp and title

Block	Quantity	Port of Export/ Re-export	Date	Signature	Official stamp and title
A					
B					
C					
D					

Unused boxes not crossed out

CITES PERMIT / CERTIFICATE No. 1209

ワシントン条約の施行
のカギとなるのは
「輸出許可書」の発行

輸出許可書の発行の要件



合法性

動植物の保護に関する自国の法令に違反しないこと

- 漁業法等の順守
- モニタリング、検査、施行
- 地域的な制度的合意の遵守 (例: RFMOs)

持続可能性

当該輸出が種の存続を脅かすこととならないこと

- 国を越えた地域、国のその種の状態の科学的評価 (NDF)
- 持続可能な漁業を担保する科学

トレーサビリティ

出所から目的国までの取引の記録

- CITES許可書
- 国によるCITES年次報告
- 識別
- 漁業当局とCITES当局との連携
- 施行の強化

FAQ

- * 締約国はどうして決まったことを守るのか？ 罰則は？
 - 法治国家としての責任感
 - 取引の一時停止の勧告など様々な措置が規定されており、セーフティーネットとして機能している。

- * 国際取引の規制は、WTOと抵触しないのか？
 - 過去40年間、抵触するとして問題となったことはない。WTOと連携して取り組んでいる。

- * 締約国でない台湾との取引はどうなるのか？
 - 台湾では、締約国と同様、ワシントン条約の規定に沿って、国内制度を整備し、対応している。

第16回締約国会議 (CoP16) の様子



©TRAFFIC

ワシントン条約 締約国会議 (CoP)

- * 条約の施行状況を検証するために、2年半～3年おきに開催される
- * CoP16では、200以上のNGO、国際機関等を含め、2000人以上が参加
- * 会議の主な内容
 - 附属書の種のリストの追加・修正 (3分の2以上の賛成が必要)
 - 附属書掲載種の状況の検証
 - 事務局、締約国、各種委員会、または他の作業部会からの報告書の検討
 - 予算も含めた決議、決定の採択

ワシントン条約 締約国会議 (CoP)

* 議論: 分科会 → プレナリー

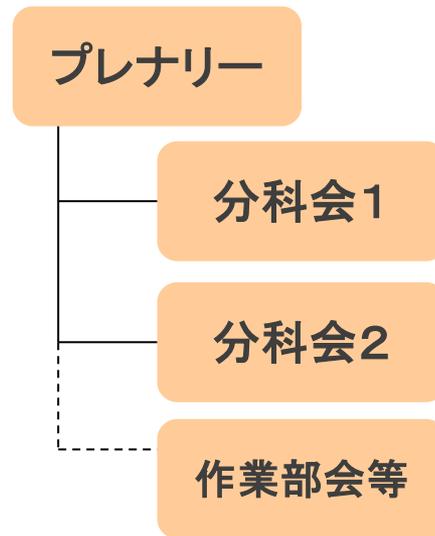
- 分科会1: 附属書改正提案を含む生物学的な案件に関するもの
- 分科会2: その他様々なもの

* 可能な限り、コンセンサスを目指す

* コンセンサスに至らない場合に投票となる。手続き案件は過半数、重要な案件は3分の2以上の賛成が必要。

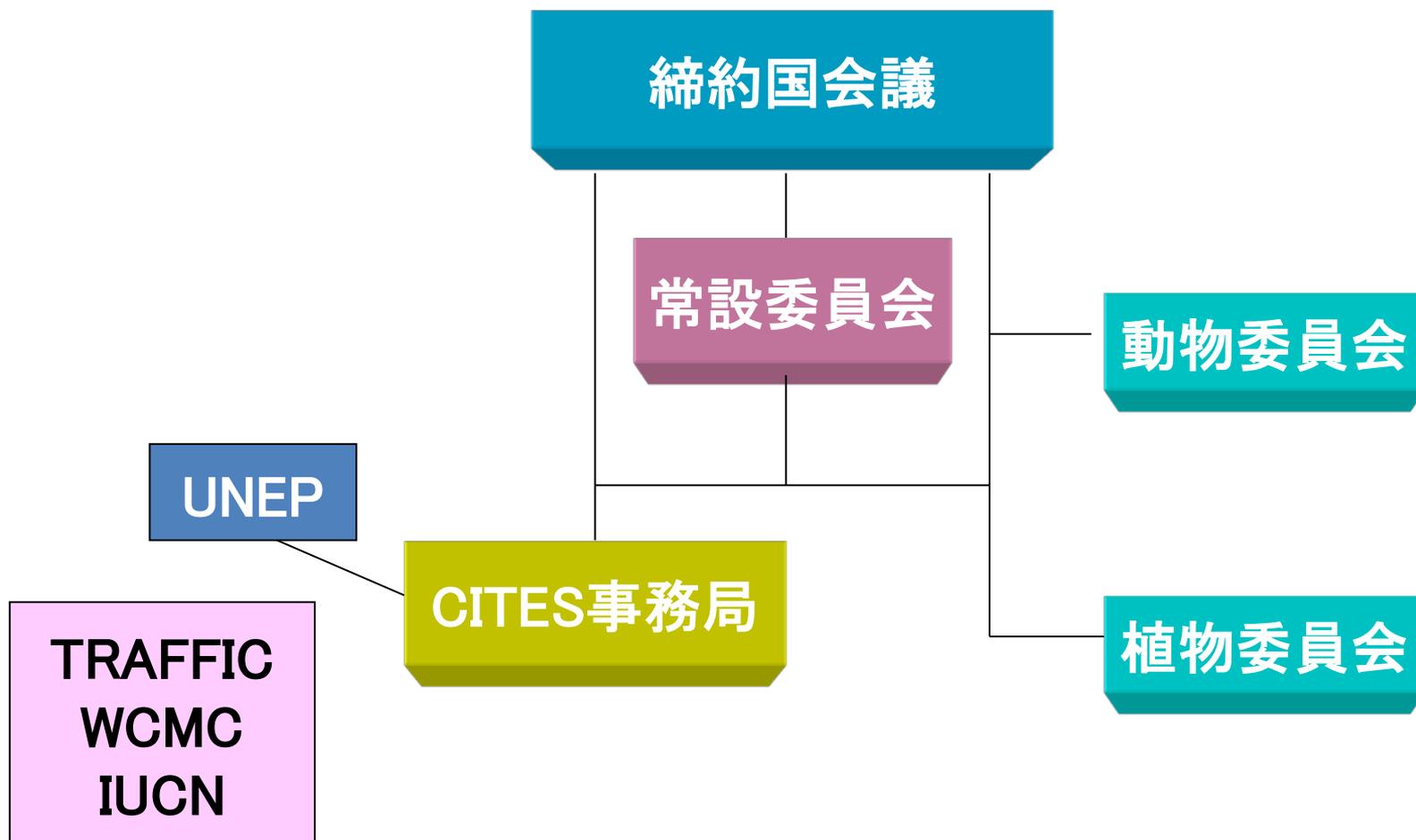
* 参考: 秘密投票

* プレナリーで再度、分科会で決まった事項について、再確認を行う



NGOも発言は可能。
ただし、投票できるのは締約国のみ。

締約国会議の組織図



締約国会議

種の附属書改正に関する提案

条約の施行に関する提案

討議

討議

- ・新しい情報
- ・ワーキンググループ
- ・専門家からのインプット
- ・情報・意見交換 など

採択 否決 撤回
附属書の改正

決議
Resolution

決定
Decision

附属書改正提案

Original language: English CoP17 Prop. 42

CONVENTION ON INTERNATIONAL TRADE IN ENDANGERED SPECIES
OF WILD FAUNA AND FLORA



Seventeenth meeting of the Conference of the Parties
Johannesburg (South Africa), 24 September – 5 October 2016

CONSIDERATION OF PROPOSALS FOR AMENDMENT OF APPENDICES I AND II

A. Proposal

Inclusion of *Carcharhinus falciformis* (Müller & Henle, 1839) in Appendix II in accordance with Article II paragraph 2(a) of the Convention.



Qualifying Criterion (Conf. 9.24 (Rev. CoP16))

Annex 2a, Criterion A. *It is known, or can be inferred or projected, that the regulation of trade in the species is necessary to avoid it becoming eligible for inclusion in Appendix I in the near future.*

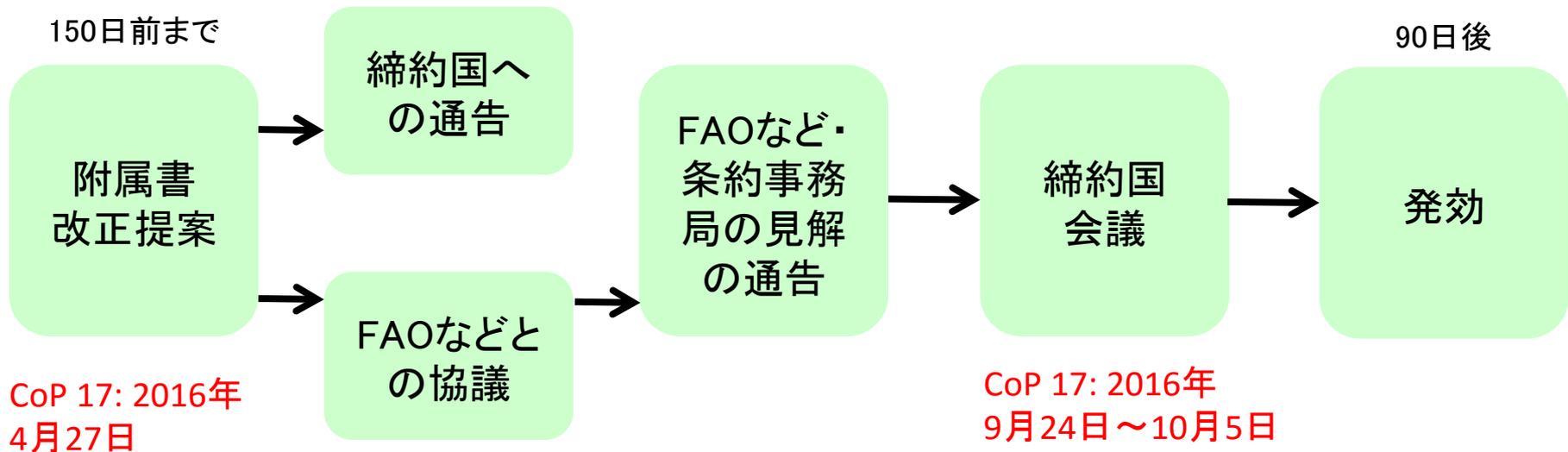
The species qualifies for inclusion in Appendix II under this criterion because marked population declines meet CITES' guidelines for the application of decline to commercially exploited aquatic species. This proposal describes declines in *C. falciformis* populations of between 70% and 90% in all regions. These declines arise from over-exploitation in fisheries that are driven by international trade demand.

Based upon current rates of exploitation, this species is likely to become threatened with extinction and soon qualify for Appendix I under Criterion Cii unless international trade regulation provides an incentive to introduce or improve monitoring and management measures to provide a basis for non-detriment and legal acquisition findings.

* 締約国であれば、生息国・分布国でなくとも提案できる

* 関係国に協議のうえ、締約国会議の150日前までに附属書改正提案書を事務局へ提出

附属書掲載提案から発効までの流れ



審議結果の例(水産種)

種名	条約事務局勧告	FAO勧告	審議結果
ヨーロッパウナギ (COP14)	採択	採択	採択
クロマグロ(COP15)	採択	採択	否決
宝石サンゴ類 (CO15)	採択	否決	否決
ニシネズミザメ (COP15)	採択	採択	否決
ニシネズミザメ (COP16)	採択	採択	採択

附属書・提案書等の見方

附属書 I	附属書 II	附属書 III
FAUNA(ANIMALS)【動物界】 PHYLUM CHORDATA 『脊索動物門』 CLASS MAMMALIA(MAMMALS)「哺乳綱」		
ARTIODACTYLA《ウシ目(偶蹄目)》		
Antilocapridae〈プロングホーン科〉 Pronghorn(プロングホーン類)		
<p><u><i>Antilocapra americana</i></u> プロングホーン [Mexican Pronghorn; Pronghorn] (メキシコの個体群に限る。他の個体群は、附属書に掲げない。)</p>	<p>種名</p>	
Bovidae〈ウシ科〉 Antelopes, cattle, duikers, gazelles, goats, sheep, etc.(アンテロープ類、ウシ類、ガゼル類、ヤギ類、ヒツジ類等)		
<p><i>Addax nasomaculatus</i> アダックス [Addax]</p>	<p><i>Ammotragus lervia</i> バーバリーシープ [Aoudad; Barbary Sheep; Uaddan]</p>	<p><i>Antilope cervicapra</i> (ネパール、パキスタン)</p>

属名

種名

経済産業省作成の「ワシントン条約附属書(動物界)」の一部

複雑な注釈

例) アフリカゾウ



© WWF-Canon / Martin HARVEY

PROBOSCIDEA(ゾウ目(長鼻目))	
Elephantidae(ゾウ科) Elephants (ゾウ類)	
<i>Elephas maximus</i> アジアゾウ、インドゾウ [Asian Elephant; Indian Elephant]	
<i>Loxodonta africana</i> アフリカゾウ [African Elephant; African Savannah Elephant] (附属書IIに掲げるボツワナ、ナミビア、南アフリカ共和国及びジンバブエの個体群を除く。)	
	<i>Loxodonta africana</i> アフリカゾウ [African Elephant; African Savannah Elephant] 注5 (ボツワナ、ナミビア、南アフリカ共和国及びジンバブエの個体群のみ。他の個体群は附属書Iに掲げる。)

注5

非商業目的のハンティングトロフィーの取引

- 2) ジンバブエ、ボツワナについて決議 11.20 に定められたものと、ナミビアと南アフリカについて生息域内 (in situ) 保護プログラムのための、適切で受け入れ可能な目的地に向けた、生きている動物の取引
 - 3) 皮の取引
 - 4) 毛の取引
 - 5) ボツワナ、ナミビア、南アフリカについては商業目的または非商業目的でおこなわれる。ジンバブエについては非商業目的でおこなわれる革製品の取引
 - 6) ナミビアについては狩猟員類に組み込まれ、ひとつずつ記号をつけ認証されたエキバという象牙
 - 7) 登録された象牙の取引 (ボツワナ、ナミビア、南アフリカ、及びジンバブエについて、全形牙及び切断した牙) で、次の規定に従うもの:
 - i) 当該国で採取され、政府が在庫として所有する登録されたものに限る (押収された象牙及び原産地不明の象牙を除く)。
 - ii) 事務局が、常設委員会と協議の上、輸入された象牙が再輸出されず、かつ、国内での製造及び取引に関する決議 10.10 (CoP12で改正) のすべての要件に従って管理されることが確保されるような十分な国内法及び国内取引規制を有していることを認証した取引相手国に限る。
 - iii) 事務局が、輸入予定国と、登録された政府所有の在庫を認証した後に限る。
 - iv) CoP12 で合意された、政府が在庫として所有する登録された象牙の条件付実質に準ずる象牙 (ボツワナから 20,000kg、ナミビアから 10,000kg、南アフリカから 30,000kg) である。
 - v) CoP12 で合意された案に加え、ボツワナ、ナミビア、南アフリカ、ジンバブエで 2007 年 1 月 31 日までに登録され、事務局に認証された政府が所有する象牙は、上記段落 7) iv) の象牙とともに、事務局の厳格な監視のもと、目的地ごとに一度の実質によって取引、発送をおこなってもよい。
 - vi) 取引による収益は、ゾウの生息域やその近隣の地域で、ゾウの保護と地域社会の保全・開発プログラムにのみ用いられる。
 - vii) 上記段落 7) v) で特定されている追加の量は、常設委員会上記の条件を満たしたと合意された後限り、取引引きされる。
 - 8) すでに附属書IIに掲載されている個体群からの象牙の取引を許可しようとする提案は、CoP14 以降、上記段落 7) i)、7) ii)、7) iii)、7) iv)、7) v) の規定に従って実施される一度の象牙の実質の日から 9 年間の間、締約国会議に提出してはならない。加えて、そのようなならざる提案は決定 14.XX と 14.XX に従って取り扱われる。事務局からの提案に基づき、常設委員会は、輸出国、輸入国による不遵守の事実や、他のゾウ個体群の取引に有害であると証明された場合、この取引の一部、あるいは全部を停止する決定をくだすことができる。他のすべての標本は、附属書Iに掲げる種の標本とみなされ、その取引は、附属書Iに掲げる種の標本の取引として規制される。」
- 注: 上記段落 h) の「決議 14.XX と 14.XX」という記載は、下記の、常設委員会に向けた決議に言及しており、番号は附属書I、IIに示される。

「常設委員会は、事務局の支持を受け、遅くとも CoP16 までに承認されるよう、締約国会議の支援のもとでおこなわれる、象牙の取引過程に関する意思決定機構を提案する。

常設委員会は、CITES の情報に基づき、ゾウの現状、標本の取引、合法取引の形態に関する

CoP17特集ページ：

<http://www.traffic@trafficj.org/cites-cop17.html>



TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

is a strategic alliance of



トラフィック (WWF内)
東京都港区芝3-1-14日本生命赤羽橋ビル6階
TEL：03-3769-1716
代表アドレス：TEASjapan@traffic.org
HPアドレス：traffic@trafficj.org

TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network